

1 専門基盤科目

専門基盤科目は、すべての学生が、幅広い視野を養い、教員としての基礎的な資質・能力を培うことを目的として、以下の2つのカテゴリーから科目を履修します。

● 基礎科目

- 日本国憲法
- 情報活用の基礎
- 健康・運動系科目
- 外国語科目
- 外国語
コミュニケーション
- 防災教育

● 教養科目

- 知る科目
 - 人権教育
 - 人間と音楽
 - 持続可能な社会
 - 性・文化・ジェンダー
 - 東北の教育と人づくり
 - 東北・宮城の教育事情など
- 磨く科目
 - コミュニケーション論
 - 環境教育
 - 情報メディアの活用
 - 多文化教育入門
 - 地域に根ざした教育実践 など
- 育む科目
 - 適応支援論
 - 子ども学
 - 生涯学習論
 - 学校の安全管理と防災教育
 - 地域フィールドワーク研究 など

2 専門教育科目

専門教育科目は、各専攻で卒業要件として設定された教育職員免許状を取得するために必要となる授業科目として、以下の4つのカテゴリーから、それぞれ所定の単位数を履修することにより、教育職員免許状の取得を目指します。

また、生涯にわたり学び続ける教師としての資質を身につけるために「卒業研究」を必修科目として設定しています。

● 教育の基礎的理解に関する科目

- 教育の原理
- 教職入門
- 教育の制度・経営
- 教育と地域社会
- 発達と学習の心理
- 特別支援教育理解
- 幼稚園教育課程論

● 道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

- 道徳の理論及び指導
- 総合的な学習の時間の指導法（特別活動を含む。）
- 教育課程と教育方法
- 情報活用能力育成実践論
- 児童・生徒理解
- 幼児理解
- 教育相談（カウンセリングを含む。）

● キャリアステップアップ科目

- 教育体験
初年次演習
- 教育実践
探究演習
- 3・4年次
教育実習
- 教職実践
演習

● 教科及び教科の指導法に関する科目

- （各教科の指導法に関する科目）
- 保育内容の指導法
- 各教科の教育法（初等）
- 各教科の教育法（中等）
- 幼稚園の領域科目
- （教科に関する科目）
- 小学校の専門科目
- 中学校の専門科目
- コース専門科目
- 特別支援専門科目

卒業研究

3 専門拡充科目

専門性の更なる高度化、副免許や資格の取得などの科目群「パッケージ」を設定し、将来を見据えた明確な計画のもとで、学生が主体的・自覚的に選択しながら履修します。

● 特別支援教育に関するパッケージ

初等教育専攻および中等教育専攻の学生が、特別支援学校2種免許状を取得する場合など

● 小学校1種および2種のパッケージ

中等教育専攻の学生が、小学校1種または2種免許状を取得する場合など

● 中学校1種および2種のパッケージ

初等教育専攻の学生が、中学校1種または2種免許状を取得する場合など

● 小型パッケージ

- 学校防災・安全教育
学校防災教育関係の科目をプラスして取得する場合など
- 情報活用能力教育
情報活用能力教育関係の科目をプラスして取得する場合など
- 小学校英語教育
小学校英語関係の科目をプラスして取得する場合など
- 地域関連教育
東北地域の教育に関する科目をプラスして取得する場合など

- グローバル教育
グローバル教育関係の科目をプラスして取得する場合など
- 特別支援教育
特別支援教育に関する科目をプラスして取得する場合など
- 小学校教科専門
小学校教科専門に関する科目をプラスして取得する場合など
- 学校図書館司書教諭
学校図書館司書教諭任用資格を取得する場合

1年次

□ 教育体験初年次演習

教育体験初年次演習は、卒業後の将来を見据えつつ、教職への関心を培い、教職への意欲・情熱・使命感等を高めるとともに、4年間を見通した学修計画を立てて主体的に学ぶ姿勢を作るというキャリア教育的な要素を持った授業科目です。さらに、大学での専門的な学修や研究に取り組むための技術・能力を磨き、入学後1年間をかけて教育大学の学生としての資質・技能をじっくりと育てるといった初年次教育的な要素も併せ持っています。



2年次～3年次

□ 教育実践探究演習

1年次開講の教育体験初年次演習Ⅰ・Ⅱが幼児・児童・生徒理解や学校理解、教職理解を主とした総合的・全般的な体験・観察実習活動を取り入れていたのに対して、2年次および3年次開講の教育実践探究演習A・Bは、それを発展させる形で、教員が遂行する職務の中でも重要な位置を占めている学習指導や生徒指導により焦点をあてます。教育実践探究演習は、3年次以降の教育実習に向けて、学問体系に基づいた学修と体験的な学修とを有機的に結び付けることで実践的指導力を磨き、さらに教職キャリアのステップアップを意識していくことをねらいとした授業科目です。

□ 3年次教育実習

宮城教育大学の附属幼稚園・小学校・中学校において2週間の実習を行います（特別支援教育専攻については、履修型によって実習先が異なります）。

講義や演習で培った知識や技能を基に実践を行い、その経験を実習以降の学修に還元していきます。

実習の時期は、6月中旬から9月上旬までの期間です。



4年次

□ 4年次教育実習

協力校（小学校または中学校）において3週間の実習を行います（芸術体育・生活系教育専攻および特別支援教育専攻については、履修型によって実習先が異なります）。

講義や演習、3年次実習で培った知識や技能を基に実践を行い、その経験を踏まえ学部での学びの集大成へと向かいます。

時期はⅠ期が6月スタート、Ⅱ期が10月スタートで、Ⅰ期かⅡ期のどちらかで実習を行います。

□ 教職実践演習

教職実践演習は、大学生活の中で教員としての資質能力が身についたのかどうかを学生自身が振り返る、「学びの軌跡の集大成」としての位置を持つとともに、キャリアステップアップ科目の総まとめとなる科目です。すなわち、学生はこの科目の履修を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その確かな定着を図ることにより、卒業後の教職生活をより円滑にスタートできるようになることが期待されています。

